企業支援施策 利用者アンケート結果

平成25年2月

春日井市産業部企業活動支援課

1 アンケート調査の目的

現行の産業振興アクションプランが平成25年度に終了することから、これまでの 取り組みの実施状況を検証し、検証結果を踏まえた産業振興のための効果的な施策を 検討することで、更なる産業振興の推進を図るため、アクションプランを改定する。

アクションプラン改定にあたり、実際に施策を利用した事業者の意見等を調査する ことで事業者における現状を探り、プラン改定において施策等を検討するための基礎 資料とする。

2 アンケート実施期間及び回答状況

- (1)配布日 平成25年1月11日
- (2)配布方法 郵送
- (3)回答状況 配布企業 93社

回答企業 56社(回答率60.2%)

3 まとめ

今回のアンケート結果では、既存の支援制度における不満な点として、個別施策に対する回答のほか、全体意見として、「中小企業が使いやすい制度への見直し」、「手続きの簡素化」、「支援制度の分かりやすさ」の3点が大きなものとして挙げられた。

また、今後希望する支援制度として、多岐に渡る回答があった。雇用助成、防災関連助成、ISO助成、研修助成等の拡充のほか、市街化調整区域の要件緩和や商業用地への支援、緑地率の緩和など、立地に係る回答もあった。また、支援制度の情報提供の充実を希望する回答があった。

個別施策について、利用した助成制度を今後も利用するかという質問については、 72%が今後も利用すると回答しており、一度利用した助成制度は継続的に利用されることが分かる。

助成要件や助成率、限度額については、設備投資助成で拡充を求める回答が多かったほか、知的財産権助成や小間料助成での限度額を上げてほしいとの回答があった。

申請手続き方法や申請書の様式については、設備投資助成の手続きを簡素化してほ

しいとの回答が多かった。

職員の案内、説明、サポートについては、好意的な回答が多く、職員によるサポート体制の満足度は高いと思われる。

助成制度を利用してプラスとなったことについては、主に財務面における点が多く あげられているほか、他社との差別化や従業員の意識向上への波及効果もあるとの回 答がみられた。

これらの調査結果を踏まえ、アクションプラン改定における効果的な企業支援の検 討を行ってまいります。

4 全体アンケート

- (1) 既存の支援制度で不満な点(記述回答)
 - ・要件、助成率等において、中小企業、小規模企業が使いやすい見直しを求める。
 - ・提出書類の削減、簡素化をお願いする。
 - ・多岐に渡る支援があり、支援ガイドをいただいているが、支援制度に該当しているか分かりづらい。
- (2) 今後希望される支援制度(記述回答)
 - ・雇用制度の拡充。(助成雇用支援、60歳以上の雇用延長支援など)
 - ・中国等の外国における現地買付に対する支援。
 - ・海外輸出や海外輸入に関する支援。
 - ・工業団地に対する社会基盤整備。(共同排水整備、緑地帯管理など)
 - ・地域の防災・減災に通じる防災投資助成。(※注:地域貢献助成の拡充)
 - ・防災関連助成に耐震補強工事を含めてほしい。
 - 市街化調整区域の要件緩和。
 - ・商業用地の企業支援。特に都市計画の変更を含めた商業用地活性化。
 - ・商店街の活性化と、春日井駅、勝川駅周辺の商業施設の活性化。
 - ・ISOの更新、定期審査費用への助成。
 - ・(支援制度の)情報提供。広く認知させる施策。
 - ・研究開発に関する機械装置への助成。
 - ・特許取得だけではなく、特許の製品化への助成や支援。

- ・助成金の交付例と交付件数をホームページに掲載してはどうか。
- ・単年度ではなく、複数年度に渡っての優遇措置。
- ・技能講習、主任者講習や、ガス溶接、プレス作業責任者、動力プレス、有機溶剤 作業責任者、クレーン等の費用の高い資格を取得する際の助成。
- ・省エネや暑さ対策に関する助成。
- 資金繰り対策の支援。
- 電気自動車購入時の助成。
- ・緑地率の緩和。

5 工場新増設助成について(回答5社/13社)

- (1) 不満な点
 - ・助成金がもらえるまでの時差。
 - ・高度先端助成と比較すると限度額が低い。
- (2) プラスとなった点
 - ・中小企業にとって、財務にとってとても助かる。

6 既設工場取得助成について(回答2社/2社)

- (1) 不満な点
 - ・手続きや申請書はもう少し簡単なものにしてほしい。
- (2) プラスとなった点
 - ・設備投資のしやすさを生む。

7 被災企業等工場機械移転緊急助成について(回答1社/1社)

- (1) 不満な点
 - 機械設置後の技術指導や移転の必要経費も助成対象としてほしい。
 - ・助成率を県と同率にしてほしい。
 - ・添付資料等、もう少し簡素化してほしい。

(2) プラスとなった点

・移転するという決定が速やかにできた。

8 企業立地奨励事業について(回答8社/19社)

- (1) 不満な点
 - ・単年度ではなく複数年続けてほしい。
 - ・記入項目が多く面倒。
- (2) プラスとなった点
- 9 立地企業雇用奨励について(回答1社/2社)
- (1) 不満な点
- (2) プラスとなった点
- 10 設備投資助成について(回答16社/25社)
 - (1) 不満な点
 - ・経営投資の点から、助成率15%、又は、限度額5000万円程度にしてほしい。
 - ・規模(資本金)に応じた助成内容としてほしい。
 - ・投資要件5000万円を引き下げてほしい。
 - ・認定申請の計画を出すことが難しい。計画を立てても通らないときもあるし、逆 に通るとすぐに着工してしまう。
 - ・交付申請の必要書類(支払証明資料)が膨大で人的負担が非常に大きい。
 - ・追加申請等で書類の整理が大変だった。償却資産の届出とリンクしてもらえれば。
 - (2) プラスとなった点
- 11 環境投資助成(太陽光)について(回答9社/11社)
 - (1) 不満な点
 - (2) プラスとなった点
 - 環境投資により得られたノウハウ等を今後の製品開発に活かす。
 - ・環境負荷の軽減を客先にアピールでき、差別化を図れる。
 - ・今後の収益に期待。
- 12 環境投資助成(省エネ)について(回答14社/21社)

(1) 不満な点

- ・省エネ診断を受けなければならなかったため、手続きが大変。
- ・認定、交付、実績、請求と手続きがあり、戸惑った。
- ・PR情報の発信をもっと行えば、より活用できると思う。知らないと損をするということがないようにしてほしい。

(2) プラスとなった点

- ・外灯が明るくなったので防犯にも役立つ。
- ・環境配慮とコスト削減を同時にできる。
- ・社内での省エネの取組みが加速できた。

13 環境投資助成 (緑地) について (回答 1 社/ 2 社)

- (1) 不満な点
- (2) プラスとなった点

14 防災関連助成について(回答3社/3社)

- (1) 不満な点
- (2) プラスとなった点
 - ・BCP活動の推進上、非常に有効な制度。
 - ・経営トップへの説得材料になった。

15 職場環境向上助成について(回答1社/1社)

- (1) 不満な点
- (2) プラスとなった点

16 工業振興共同助成について(回答1社/2社)

- (1) 不満な点
 - ・健康診断の助成率を50%にしてほしい。「新かすがい健康プラン」の基本方針に つながる施策。
 - ・健康診断の助成制度のPRの充実。

(2) プラスとなった点

17 産学共同研究助成について(回答6社/8社)

- (1) 不満な点
- (2) プラスとなった点
 - ・先端技術を利用して評価できたため開発がスピードアップした。
 - ・県の助成金取得にもつながった。

18 知的財産権取得助成について(回答6社/15社)

- (1) 不満な点
 - ・申請期限を延長してほしい。
 - ・実際にかかる経費を考えると、限度額を多くしてほしい。
- (2) プラスとなった点

19 マーケティング支援事業について(回答9社/14社)

- (1) 不満な点
 - ・備品等も助成対象としてほしい。
 - ・東京、大阪などの助成率を上げてほしい。
- (2) プラスとなった点

20 地域貢献助成について(回答7社/10社)

- (1) 不満な点
 - ・祭りにおいて、飲食や景品が対象外なのも分かるが、地域貢献面では大きなウエ イトになっていると思う。
 - ・次年度の内容確定時に案内がほしい。
 - ・リース契約の認定申請を1回に簡素化してほしい。
- (2) プラスとなった点
 - ・納涼祭の認知度が上がった。

・スタッフの中で、自社が地域貢献をしているという自負ができた。

21 企業信用力向上について(回答1社/4社)

- (1) 不満な点
 - ・メールかFAXで手続きできるようにしてほしい。
 - ・エコアクション21の担当職員が少ない。(※注:環境部局についての意見と思われます)
- (2) プラスとなった点

22 ISO取得助成について(回答2社/5社)

- (1) 不満な点
- (2) プラスとなった点
 - 成約のきっかけになった。
 - ・新規取引先が増えた。

23 研修助成について(回答7社/19社)

- (1) 不満な点
 - ・希望する講習会も助成対象としてほしい。
- (2) プラスとなった点